

## 博学連携：学習活動計画

〔博学連携〕 平和学習月間（平和集会）		実施校：豊見城中学校
実施校側：道徳、図書館利活用（読み聞かせ含む）ほか		対 象：全校生徒
資料館側：平和学習支援、平和集会協力		担 当：平和教育、図書館司書ほか
主題	3－（1）〔自他の生命〕 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を	
内容項目	尊重する。（中学校学習指導要領 第3章 道徳）	
資料名	「平和・命を考える ー沖縄戦をとおして」	
めあて	1. 沖縄戦の概要及び特徴を、当時の豊見城の様子をふまえて考える。 2. 平和のために、自分やまわりの人達と一緒に何かできることを考える。	

【事前学習等】	【実施校側】	【資料館側】
	☆平和教育担当・・・「平和学習月間」企画提案 ※貸出資料「証言ビデオ」等→ ☆図書館司書・・・「読書月間」企画提案 「沖縄戦特設コーナー」設置→ ☆図書館・読み聞かせ担当・・・ボランティア調整	☆「平和集会」内容調整及び資料提供 ←貸出資料等の紹介・活用法の助言 ☆図書館での平和学習実践例 取材 ←参考資料への助言（郷土史活用「豊見城村史等」） ☆読み聞かせボランティア実践例 取材

【平和集会】 日時：平成28年6月22日（水）8：20～9：05 場所：豊見城中学校体育館		
45分	講話 主な内容	活用・引用資料
〔導入〕 5分	☆写真資料提示「制圧直後の海軍司令部壕周辺」 『71年前の豊見城（旧海軍司令部壕跡）の写真。当時、何が起きたのかを、一緒に考えていきましょう。』 ⇒講話の4つの柱提示	☆米軍記録写真
〔展開〕 30分	1 《戦争が起こる原因》⇒土地・資源争い（帝国主義） 2 《日米開戦～沖縄戦の実相》 「概要説明、戦力比較等」「『沖縄』の位置づけ」 「根こそぎ動員」、「疎開」「学徒動員」「鉄の暴風」 「軍民雑居」「壕追い出し」「スパイ死」 「集団自決」「戦陣訓」「戦争孤児」等 3 《沖縄戦から学ぶこと、いま できること》 ○1年生・・・「戦争につながる心」に打ち克つ ○2年生・・・戦争に巻き込まれている同世代への関心 ○3年生・・・生き方を考える。自他の平和のために。	☆社会科教科書等 ☆沖縄県平和祈念資料館「総合案内」及び 「米軍記録写真」 ☆沖縄県資料（援護班） ☆豊見城村史第6巻戦争編（図書館収蔵有） ※豊見城村民 死亡率 約40%（44%） 「県内は、4人に1人」
〔終末〕 10分	☆写真資料提示 ※導入部と同じ ●戦後71年目「慰霊の日」→『遺骨』をさがす豊見城の方 『焼け野原から復興した今の豊見城。これからも平和でありつづけるためにも、ひとりひとりが「語り部」となり、平和の輪を広げていく』→体験者の想い「沖縄のこころ」継承	☆第26回「児童・生徒の平和メッセージ展」作文部門中学生の部優良賞作品より紹介 豊見城中1年 山田はんな さん

【事後学習等】	【実施校側】	【資料館側】
	☆平和教育担当・・・ワークシート準備・評価 貸出資料の評価・次年度構想→ ☆図書館司書・・・「読書月間」実施・評価 「沖縄戦特設コーナー」設置の次年度構想→ ☆図書館・読み聞かせ担当・・・ボランティア調整	☆「平和集会」事後評価・改善 ←学校向け貸出資料の再検討等 ←資料提供、次年度企画への助言・支援 ←「語り部」との意見交換及び情報収集

関連する教科・領域	
社会科	歴史的分野（沖縄戦、近現代史）、公民的分野（現代の課題）
道徳	主題・内容項目 3－（1）〔自他の生命〕
総合的な学習の時間	第1学年：地域調べ（旧海軍司令部壕見学）ほか